

大阪音楽大学付属音楽幼稚園

2017年度 教諭自己点検結果報告

1 本年度の重点的な目標、総合的な評価結果及び今後の課題

本年度の重点目標を以下の通りとした。

- ① 保育内容の充実を図る。
- ② 園児の安全について衛生面から再点検し、必要な環境を整えるとともに教職員の意識を高める。

①に関しては、毎月定期的に保育内容について学年ごとに研究を行った。保育前には保育内容の理解と教材研究を中心に研究会を実施し、保育後にはクラスで園児の反応をはじめとする様々な情報や反省を報告する会を実施することで次へ生かすことができた。このことは教諭間の連携にもつながり、連携を取ることで園児指導や保育内容に偏りが生じることを防ぐ効果を得られたと考えている。今後もさらに保育内容の充実に向けて努力したい。

②に関しては昨年度の3月にロタウィルス感染症含む胃腸の症状で欠席者が多く出たが、その時に緊急に対応した内容を精査することから行った。そして1年中続けるべきことと、兆候が見られたときに速やかに実行すべきことに分け、保護者からの意見も聴取しつつ環境を整えた。開園50周年にあたり、園庭の水道の改修工事が実施され、冬場には温水が使用出来るようになったことで冬季の園児の手洗いもしっかり行えるようになった。この水道の改修は衛生面から見ても非常に効果があった。更に来年度は、嘔吐や下痢症状の子どもが出た時にしっかりとそれに対応できるよう保健室のシャワー設備の改修工事をする予定である。今後も最新の情報を集めて注意深く環境を整えたい。

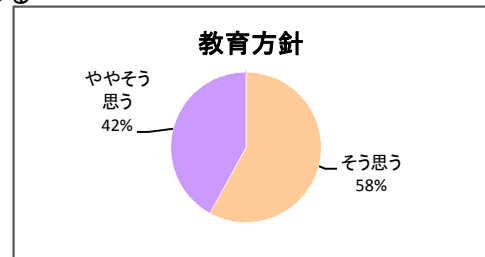
2 評価項目課題と結果

I 教育理念

課題 園の教育方針について今後もより一層理解を深める

① 教育方針

- ・園の教育方針を理解している

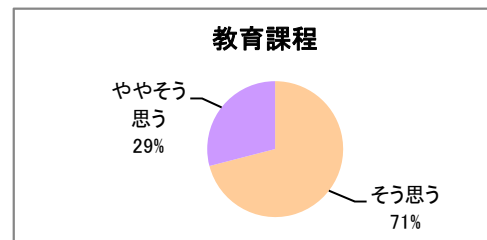


II 保育の計画性

課題 教育課程や指導計画の見直しをしつつ、全教諭が理解できるよう努力する

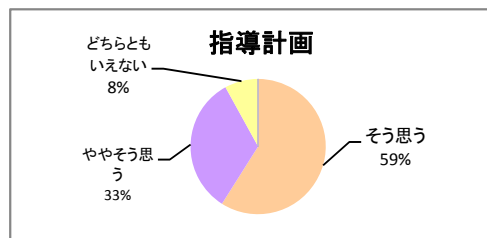
① 教育課程

- ・園の教育課程を理解している
- ・教育課程をもとに指導計画を立てている



② 指導計画

- ・指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している
- ・指導計画は常に見直しを行っている



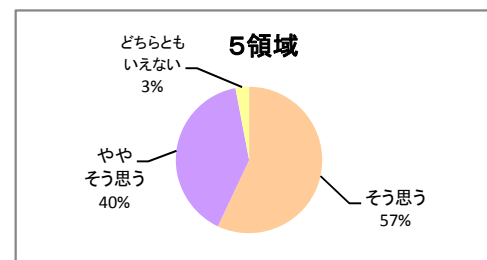
III 保育の実践

課題 本園の特色ある保育を生かせるよう工夫する

教諭間の連携を更に密にし、記録を生かしながらひとりひとりの子どもを理解する気持ちを持つ

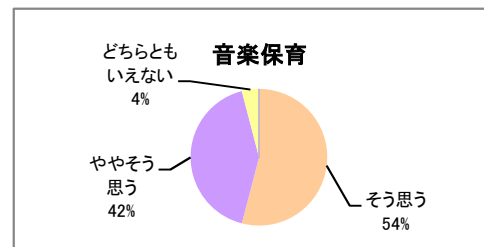
① 5領域

- ・健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域についてそれぞれの保育を工夫して実践している



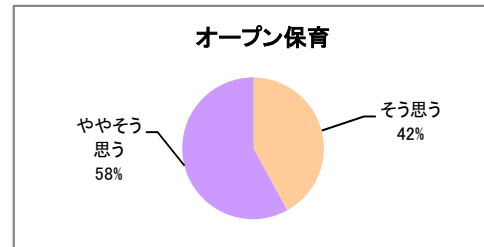
② 音楽保育

- ・音や動きによる豊富な音楽体験が子どもの自信につながるように工夫している
- ・年齢に応じた活動であるだけでなく、個々の発達に応じた工夫をしている



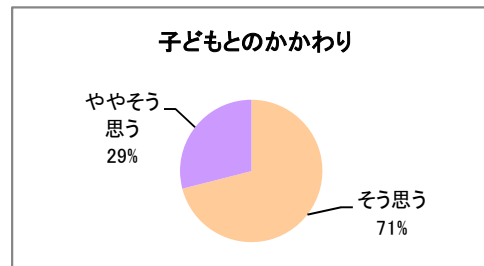
③ オープン保育

- ・子どもが自主的に行動する充実感を味わえるよう援助している



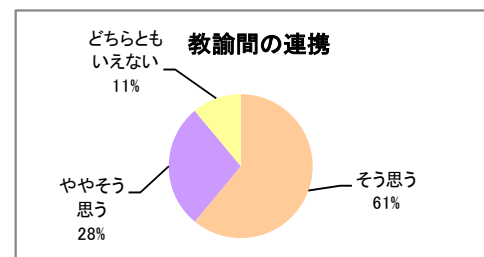
④ 子どもとのかかわり

- ・子どもの心身の状況や変化を常に把握している
- ・子どもの話をよく聞き、常に子どもの気持ちを受け止めれるよう気をつけている
- ・子どもの発達や性格に応じたかかわり方を実践している。
- ・子どもの人権を尊重して保育にあたっている



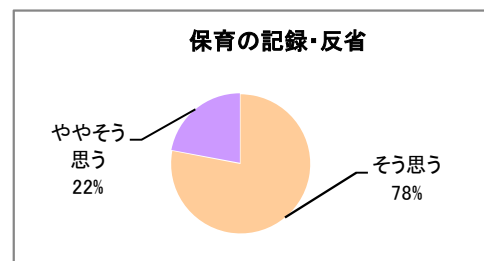
⑤ 教諭間の連携

- ・子どもについて常に教諭同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している
- ・教諭間で保育技術や保育方法の意見交換をする機会がある
- ・独断で行動せず、事前相談・事後報告をしている



⑥ 保育の記録・反省

- ・一人ひとりの子どもをよく観察するように心がけている
- ・クラス運営や子どもの生活を毎日記録している
- ・反省をふまえ、次の日の保育に生かす工夫をしている

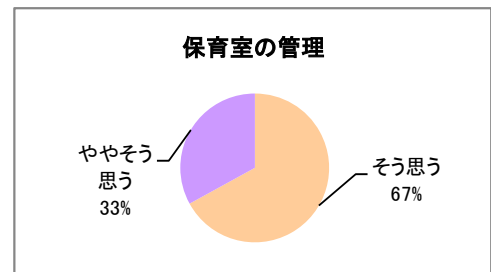


IV 学級運営

課 題 毎日の保育室管理や事務処理を能率よく行う工夫をする。

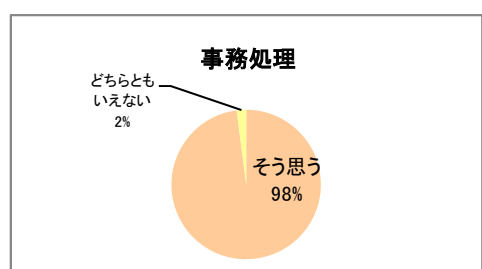
① 保育室の管理

- ・保育室内の整理整頓を心がけ、掃除が行き届いている
- ・子どもの動線を考え、安全に配慮した環境になっている



② 事務処理

- ・出席簿・保育日誌は毎日正確に記入している
- ・配布物は決められた期日に配布している
- ・連絡帳はすぐに読み、適切に対応している
- ・保護者からの提出物、現金など注意深く管理している

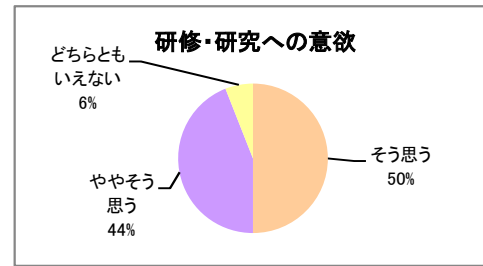


V 保育能力向上

課題 研修会により多く参加するなど、教諭としての研究心を常に持つ。

① 研修・研究への意欲

- ・研修会には進んで参加している
- ・保育関連の専門書や専門雑誌を読んでいる
- ・研修会などで習得したことを実際の保育に生かしている
- ・教材研究をしている

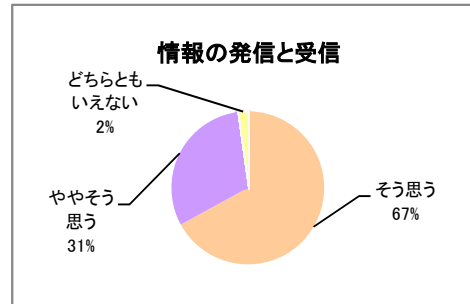


VI 保護者とのコミュニケーション

課題 家庭との連携の重要性をより一層意識し、保護者とともに考えあうという気持ちを持って保護者に接する。

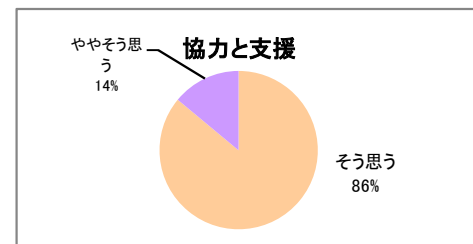
① 情報の発信と受信

- ・子どもの変化や出来事、日常の様子をできる限り保護者に伝えている
- ・保護者からの依頼や質問、相談などには適切に対応している
- ・家庭との連携が不可欠であることを認識し、保護者と情報交換をしている



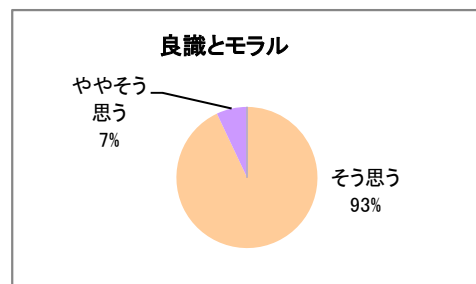
② 協力と支援

- ・保護者からの訴え、要望については安易に受けたり断ったりしないで上司に報告相談している
- ・保護者への支援が可能な部分については上司・他の教職員の合意のもとで行っている
- ・保護者の協力が必要な場合は上司と協力のあり方を協議の上で保護者に依頼している



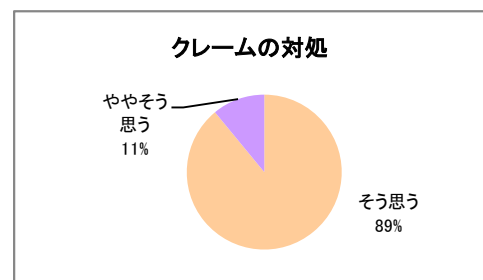
③ 良識とモラル

- ・個々の子どもや保護者、家族の情報は口外していない
- ・保護者との接し方は平等になるよう心がけている
- ・保護者に対して丁寧語で話している
- ・保護者の言葉づかいにこだわらず、話を十分聞いている
- ・園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている



④ クレームの対処

- ・クレームに対して謙虚に話を聞いている
- ・保護者の意を理解し、その上で保護者の納得を得ることができる
- ・必ず上司に相談・報告をしている

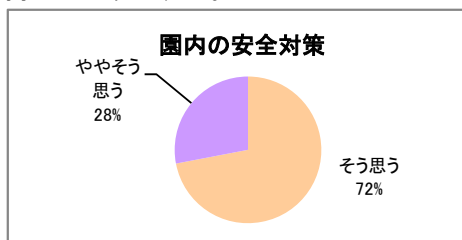


Ⅶ 安全・衛生管理

課題 安全設備等の研修会を行い、全員が共通理解を持てるようにする。

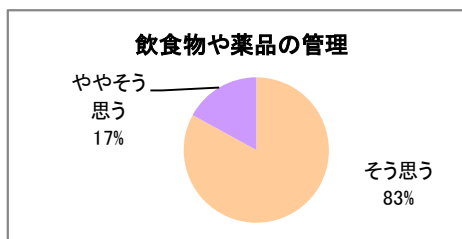
① 園内の安全対策

- ・園内に危険なもの、壊れたものはないか常に観察し発見しだい報告している
- ・園が行っている安全対策について理解している
- ・消化器や非常ブザー、さすまたの位置を把握し、使い方を理解している



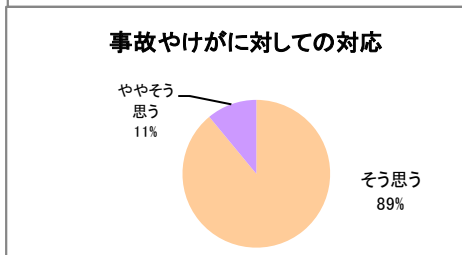
② 飲食物や薬品の管理

- ・飲食物の保管には十分配慮している
- ・救急薬品、清掃用薬品の保管、取扱いには十分配慮している



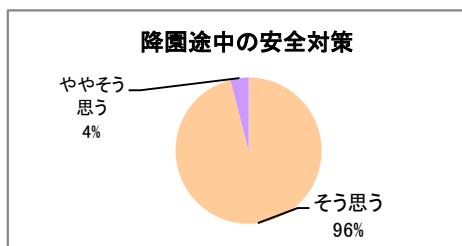
③ 事故やけがに対するの対応

- ・事故やけががあった時は迅速かつ適切に責任を持って対応している
- ・事故やけがの状況や原因を把握し、上司、保護者に報告している
- ・事故やけがについては記録している



④ 降園途中の安全対策

- ・通園バス添乗における安全対策・注意事項を理解し、配慮している
- ・降園時の子どもを確実に保護者に手渡している

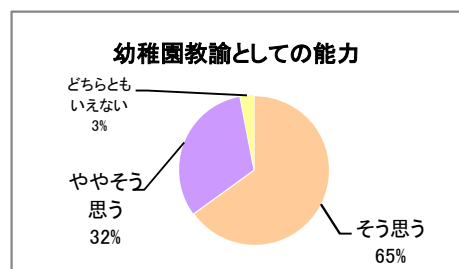


Ⅷ 期待される望ましい保育者像

課題 より望ましい保育者としての自覚や人間性を高める努力をする。

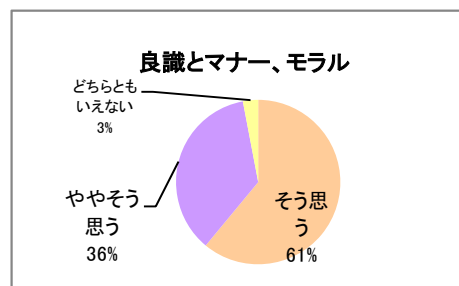
① 幼稚園教諭としての能力

- ・幼稚園教諭としての専門知識や技能を身につけようと努めている
- ・子どもの性格や個性を把握するよう努め、子どもとのコミュニケーションがとれる
- ・仕事の手順をよく考え、仕事の優先順位を見極め能率よく行っている
- ・リーダーシップを発揮し、魅力あるクラスづくりができる
- ・クラス全体の動きを常に把握している



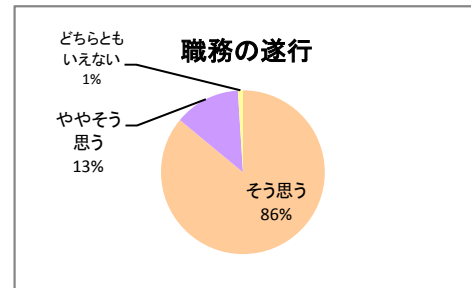
② 良識とマナー、モラル

- ・保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている
- ・その場に適した言動をとることができる
- ・服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている



③ 職務の遂行

- ・園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている
- ・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密は厳守している
- ・重要書類や個人情報にかかわる資料等は確実に保管し、園外に持ち出さない
- ・教材・教具の管理、点検に気を配っている
- ・提出物は期限内に提出している
- ・ミスしたことは必ず上司に報告している
- ・出勤簿はきちんと押印している



④ 組織の一員としてのあり方

- ・教職員全員でひとつのチームであることを意識している
- ・自分の意見と異なる結果になっても決定したことには快く協力、実行している
- ・当番や担当など仕事の分担は責任をもって確実にやっている
- ・上司の指示、命令に従い、責任を持って実行している
- ・教職員のプライバシーや園に関することをみだりに他へ話していない

